



H.Yamanaka

## THE SPORTS NIPPON SHO KYOTO KIMPAI

## 第63回 スポーツニッポン賞 京都金杯 (GⅢ)

本 賞 1 着 43,000,000円 2 着 17,000,000円 3 着 11,000,000円 4 着 5,400,000円  
付加賞 588,000円 168,000円 84,000円



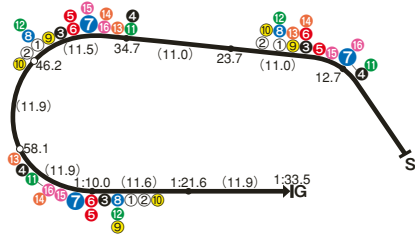
レース映像は  
コチラでご覧  
いただけます。

4歳以上、2024.1.6以降2024.12.28まで1回以上出走馬、除未出走馬および未勝利馬  
負担重量 ハンデキャップ

2025.1.5 中京 晴・良 芝1600m (国際 (特招))

着順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑦	サクラトウジュール	騾 8	58	R.キング	1:33.5	13-10-10	34.6	512(±0)	12.0⑧	堀 宣行(美浦)	112
2	⑩	ウォーターリヒト	牡 4	57	田辺裕信	クビ	13-12-12	34.3	470(+4)	6.9④	河内 洋(栗東)	111
3	①	ロジリオン	牡 4	57	三浦重成	クビ	3-3-3	35.1	502(+8)	5.2②	古賀慎明(美浦)	111
4	②	セオ	牡 5	57	団野大成	1	1-2-2	35.5	494(+14)	15.6③	上村洋行(栗東)	107
4	⑤	アスクコンナモンダ	牡 6	57.5	A.L.メトル	同着	11-8-8	35.0	458(-2)	7.3⑤	中内田充正(栗東)	108
6	⑨	シャドウフューリー	牡 5	57	川田将雅	1	6-6-4	35.3	490(+6)	3.9①	杉山晴紀(栗東)	
7	③	シュバルツカイザー	騾 7	57	岩田望来	アタマ	8-7-7	35.2	504(±0)	50.0⑩	大竹正博(美浦)	
8	⑥	マテンロウオリオン	牡 6	56	古川吉洋	1½	8-8-8	35.4	488(±0)	44.5⑨	昆 貴(栗東)	
9	⑪	コレベティートル	牡 5	57	柴田裕一郎	2½	15-15-14	35.0	488(+4)	161.8⑨	中竹和也(栗東)	
10	⑫	メイショウチタン	牡 8	57	横山典弘	1½	8-12-12	35.5	488(+18)	120.6⑤	本田 優(栗東)	
11	⑮	ドゥアイズ	牝 5	55.5	武 豊	クビ	12-10-11	35.8	484(+4)	6.4③	庄野靖志(栗東)	
12	④	オーキッドロマンス	牡 4	57	丸田恭介	1¼	3-3-4	36.5	490(±0)	79.4⑥	手塚貴久(美浦)	
13	⑬	セルバーク	牡 6	57	田口貴太	1	2-1-1	37.2	444(+12)	18.6⑦	鈴木孝志(栗東)	
14	⑭	フィールシンパシー	牝 6	54	坂井瑠星	2½	3-3-4	37.1	456(-2)	12.8⑦	小島茂之(美浦)	
15	④	ゴールデンストップ	牡 7	55	原 優介	ハナ	15-15-15	35.9	544(+4)	63.3⑩	鈴木慎太郎(美浦)	
16	③	コナコースト	牝 5	54	北村友一	大差	6-14-16	37.9	480(+8)	97.4⑪	清水文詞(栗東)	

単勝⑦1,200円(6¼%) 複勝⑦370円(7¼%) ⑩240円(4¼%) ①210円(2¼%) 枠連④-⑩2,420円(8¼%)  
馬連⑦-⑩4,870円(21¼%) ワイド⑦-⑩1,670円(24¼%) ①-⑦1,100円(15¼%) ①-⑩860円(8¼%)  
馬単⑦-⑩12,060円(48¼%) 3連複①-⑦-⑩8,980円(31¼%) 3連単⑦-⑩-⑥169,740円(247¼%)



通過タイム : 600m 800m 1000m 上り : 800m 600m  
34.7 - 46.2 - 58.1 47.3 - 35.4

### アラカルト

- ・R.キング騎手は京都金杯初勝利。JRA重賞は通算3勝目
- ・堀宣行調教師は京都金杯初勝利。JRA重賞は通算77勝目
- ・ネオユニヴァース産駒はJRA重賞通算34勝目
- ・8歳馬の勝利は初
- ・驕馬の勝利は10年ライブコンサート以来15年ぶり、通算2回目
- ・非抽選馬 8頭(イフェイオン、ウインエーデル、キープカ  
ルム、ダディーズビビッド、パレエマスター、ピーアスト  
ニッシド、ペイシャフラワー、ルブリュフォル)

# サクラトゥジュール Sakura Toujours

騏 青鹿毛 2017.4.14生  
北海道新ひだか町 谷岡牧場生産  
馬主・株さくらコマース 美浦・堀宣行厩舎  
馬名意味・冠名+いつも(仏)。母母名より連想

スワンズウツドグローヴGB系 F16-a

ネオユニヴァース 鹿毛 2000	サンデーサイレンスUSA 青鹿毛 1986	Halo
		Wishing Well
	ポインテッドバスGB 栗毛 1984	Kris
		Silken Way
サクラレーヌ 黒鹿毛 2006	シンボリクリスエスUSA 黒鹿毛 1999	Kris S.
		Tee Kay
	セダンフォーエバー 鹿毛 1987	マルゼンスキー
		サクラセダン

5代までのインブリード：Hail to Reason S4×M5

## INTERVIEW

谷岡康成 社長(谷岡牧場)

### 底力がある馬だなと改めて思いました

道中は少しもたついているようにも見えましたが、最後は内からよく伸びてきました。重賞を勝っている馬なのでやはり底力があるなと改めて思いましたし、キング騎手もうまく騎乗してくれました。8歳といっても出走レースはそんなに多くはないですし、脚元にも問題はありません。次走予定の東京新聞杯は昨年勝ったレースですので、今年も楽しみにしています。

S.Naka



昨年2月の東京新聞杯でもキング騎手とコンビを組み、鮮やかな強襲を決めた本馬だが、8月の関屋記念は道中の折り合いを欠いて13着に大敗。その後、去勢手術を受けて休養に入った。この日は5カ月のブランク明け、しかも8歳馬とあって周囲の評価は高くなかった(6番人気もの、年齢的な衰えを微塵も感じさせない鋭脚を披露。前途への期待をさらに膨らませる内容で重賞2勝目を挙げた。

去年2月の東京新聞杯でもキング騎手も狭いスペースを割るようにして強襲。セオを競り落としたロジリオンを一気に捉え、後方から追い込んだウォーターリヒトも抑えてゴールに飛び込んだ。

阪神競馬場のスタンドリフレッシュ工事にともなう変則日程により、関西ブロックの新春開催は中京で開幕。2年ぶりに左回りの芝1600mを舞台に争われた京都金杯は、前走のリゲルSでオープン初勝利を挙げた新星シャドウフューリーが頭ひとつ抜けた支持を集めた。NHKマイルCの3着馬ロジリオン、ヴィクトリアマイルの4着馬ドウアイズがこれに続き、重賞未勝利の面々が中心勢力を形成したものの、勝利を飾ったのは昨年の東京新聞杯の覇者サクラトゥジュール。明け8歳の古豪が衰え知らずの差し脚と一枚上の貫禄を示した。

出足に優ったセオを向正面でかわし、

先手を奪ったのは2年前の中京記念を逃げ切ったセルバーク。やや速い流れでレースが進むなか、ロジリオンは好位のインにつけ、シャドウフューリーは直後に位置を取る。ドウアイズは追っつけ気味の手応えで縦に長い隊列の後方5、6番手を追走。サクラトゥジュールのR・キング騎手はその内に収まり、じっくりと末脚を温存した。

直線に向くと早めに逃げ馬をかわしたセオにロジリオンが襲い掛かり、坂の上りでは白い帽子の2頭が先頭を争う形勢に。内々で脚を溜めて4コーナーをターン、シヨートカットする形でポジションを上げたキング騎手は、馬群を捌きながら追撃にかかる。ソツのないリードに比べ、サクラトゥジュールも狭いスペースを割るようにして強襲。セオを競り落としたロジリオンを一気に捉え、後方から追い込んだウォーターリヒトも抑えてゴールに飛び込んだ。

## 父ネオユニヴァース

北海道千歳市 社台ファーム生産 中央13戦7勝(日本ダービー<sup>G1</sup>、皐月賞<sup>G1</sup>、大阪杯<sup>G2</sup>、スプリングS<sup>G2</sup>)、最優秀3歳牡馬、05年から供用、21年死亡  
〔代表産駒〕**ヴィクトワールピサ**(ドバイワールドC・首<sup>G1</sup>、皐月賞<sup>G1</sup>、有馬記念<sup>G1</sup>)、**ロジュニヴァース**(日本ダービー<sup>Jn I</sup>、弥生賞<sup>Jn II</sup>)、**アンライバルド**(皐月賞<sup>Jn I</sup>、スプリングS<sup>Jn II</sup>)、**ネオリアリズム**(クイーンエリザベスII世C・香<sup>G1</sup>、中山記念<sup>G2</sup>、札幌記念<sup>G2</sup>)、**デスベラード**(京都記念<sup>G2</sup>、ステイヤーズS<sup>G2</sup>2回)、**イタリアンレッド**(府中牝馬S<sup>G2</sup>、七夕賞<sup>G2</sup>、小倉記念<sup>G2</sup>)、**グレンツェント**(東海S<sup>G2</sup>、レパードS<sup>G2</sup>)、**アムールボエジー**(関東オークス<sup>Jn II</sup>)、**ウェスターランド**(アンタレスS<sup>G2</sup>、チャンピオンズC<sup>G1</sup>2着)、**フォーエバーモア**(クイーンC<sup>G2</sup>、阪神ジュベナイルフィリーズ<sup>G1</sup>3着)、**ゴールスキー**(根岸S<sup>G2</sup>、マイルチャンピオンシップ<sup>G1</sup>3着)、他に重賞勝ち馬多数

## 母サクラレーヌ

北海道新ひだか町 谷岡牧場生産 中央8戦0勝

サクラフルーレ(11 牝父マンハッタンカフェ)不出走  
(13 牝父ステイゴールド)

サクラエテルノ(14 牝父エンパイアメーカーUSA)中央4戦0勝、地方110戦6勝

サクラユニヴァース(15 牝父ネオユニヴァース)中央16戦2勝(遊楽部特別)

**サクラトゥジュール** 本馬(17 牝父ネオユニヴァース)中央26戦7勝(京都金杯<sup>G2</sup>、東京新聞杯<sup>G2</sup>、メイS<sup>G2</sup>、2022ワールドオールスタージョッキーズ第2戦、ニューイヤーS・L2着、ディセンバーS・L2着、ジュニアC・L3着)獲得総賞金209,516,000円

サクラロウ(18 牝父ダイワメジャー)中央8戦1勝、地方19戦0勝

サクラソーレ(19 牝父リオンディーズ)中央10戦0勝、地方16戦1勝(22 牝父サートウルナリア)

※12、16、20、21、23、24(不受胎)

## 祖母セダンフォーエバー

北海道静内町 谷岡牧場生産 不出走。10年死亡、**サクラプレジデント**(中山記念<sup>G2</sup>、札幌記念<sup>G2</sup>、札幌2歳S<sup>G2</sup>、皐月賞<sup>G1</sup>2着、朝日杯フューチュリティS<sup>G1</sup>2着、神戸新聞杯<sup>G2</sup>2着、スプリングS<sup>G2</sup>2着、種牡馬)、**サクラナミキオー**(エイプリルS<sup>G2</sup>、白秋S、メイS、オールカマー<sup>G2</sup>2着、七夕賞<sup>G2</sup>3着)、**サクララディート**(福島テレビオーブン<sup>G2</sup>、アメリカジョッキークラブC<sup>G2</sup>2着)の母、**サクラヴィクトリア**(関東オークス<sup>G2</sup>、秋華賞<sup>G1</sup>2着、ローズS<sup>G2</sup>2着)の祖母、**ラッキードリーム**(JBC2歳優駿<sup>Jn III</sup>)の曾祖母

## 古豪が衰え知らずの末脚で貫禄の勝利